



令和6年度 東京都保育士等キャリアアップ研修



# 保健衛生安全対策

Eiyo 栄養セントラル学院

保育士等キャリアアップ研修では、保育士等キャリアアップ研修ガイドラインに倣って進めていきます。オンデマンド動画（e-ラーニング）の内容と抱き合わせながら…1時限目と2時限目は子どもの臨床（講師井上清恵子）について、しっかり学びましょう

※オンデマンド動画（e-ラーニング）はリアル研修（高田馬場人間総合科学大学又はzoom研修）の前でも後にも受講のタイミングはどちらでも構いません。リアル研修受講の前後1カ月（約2ヶ月）の間に視聴なさってください。

子ども、とりわけ保育所で扱う乳幼児に必要な**病気・薬**について、今一度丁寧に学びましょう

東京都保育士等キャリアアップ研修

# 保健衛生安全対策

医師



## 井上清恵子

保育現場で正しく知りたい  
子どもの病気と薬

特定非営利活動法人ちゅーりっぷの心講師  
一般社団法人保育栄養安全衛生協会講師

Eiyo 栄養セントラル学院



全15時間の東京都保育士等キャリアアップ研修  
「保健安全衛生対策」の科目で学ぶこと

保健衛生に関する理解を深め 適切に保健計画の作成と活用ができる力を養う/ 安全対策に関する理解を深め 適切な対策を講じることができる力を養う/ 他の保育士等に保健衛生安全対策に関する適切な助言及び指導 ができるよう 実践的な能力を身に付ける。

医師  
井上清恵子

Eiyo 栄養セントラル学院

1・2時限目では、子どもの病気・薬について  
保育現場の目線で見えていきましょう

保健計画の作成と活用 / 事故防止及び健康安全管理 / 保育所における感染症対策ガイドライン / 保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン / 教育保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 等

2

保育所は、子ども集団全体の健康および安全の確保に努めなければなりませんね。そのためには、私たち保育者はどのように保健衛生安全対策を考えていったらよいのでしょうか。子ども個々の健康状態を把握して、健康・安全・衛生管理等を、丁寧に計画的に実施していかなければなりません。とりわ乳幼児期は、基本的な生活習慣を確立する時期でもあります。普段づかいの保育のなかで、子どもたちが自らのからだや健康に関心を示して適切な行動がとれるよう保育者としてのマインド、“意識”を高揚していくことが大事になります。

NNS Nutrition Nursing Safety 保育 栄養 安全衛生  
一般社団法人 保育栄養安全衛生協会

Eiyo 栄養セントラル学院

医師  
井上清恵子



3

都道府県では、通院入院ともに就学前までの子どもが最も多いという現状。  
市区町村では、通院、入院ともに15歳年度末（中学生まで）が最も多かった。

## 乳幼児等医療費に対する援助の実施状況

令和元年度「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」について  
令和2年9月4日

(平成31年4月1日現在)

厚生労働省

### 1. 都道府県における実施状況

(単位: 都道府県)

対象年齢	通院	入院
実施都道府県数計	47	47
4歳未満	3	1
5歳未満	1	0
就学前	25	20
9歳年度末	3	1
12歳年度末	4	6
15歳年度末	7	14
18歳年度末	3	4
その他(※)	1	1

就学前の子どもは通院入院共に医療費援助の多い実情。病気と向き合いながら育てていく子どもたちを安心安全にお預かりする責務が保育現場にはあります

Eiyo 栄養セントラル学院

医師  
井上清恵子

4

乳幼児の保育を行う上で、知っておきたい子どもの病気について



子どもの**病気**について知りましょう

## 子どもの病気には個別的な配慮が必要



子どもにおいて保育・教育の場で配慮が必要な障害や慢性的疾患は複数あります。

心臓疾患、内分泌疾患、神経・筋疾患、泌尿器疾患、血液・腫瘍疾患、免疫疾患、アレルギー性疾患、消化器疾患、呼吸器疾患、肢体不自由、呼吸障害、嚥下障害、聴覚障害、視覚障害、排泄障害、精神遅滞、発達障害(広汎性発達障害、注意欠陥／多動性障害など)、心身症等 いろいろな病気や障害がありますが、定期的な薬物投与が必要な場合を含めて子ども一人ひとりに寄り添った支援や配慮が必要です。

Eiyo 栄養セントラル学院



医師  
井上清恵子

6

## 👁️ 子どもの眼の病気は意外と多い 👁️

風邪や腹痛などは保育現場でも対応をすることが日常多いと思いますが「眼」の病気も意外と子どもには多くみられます。眼に症状が出現してもその原因がウイルス感染等であれば全身症状も伴うことも少なくありません。中でも斜視は保育者が気付ける機会を逃さず対応したい病気です

7

# 斜視

斜視とは、2つの眼の位置を調節するためのバランスが崩れて、片方の目が外側や内側に外れてしまった状態です。

ヒトは通常、2つの目で同じものを見るため、それぞれの目の位置を合わせています。

斜視は、外見的に眼の位置（眼位）がズレていて、両眼の視線が正しく目標に合致していない状態をいいます。

Eiyo 栄養セントラル学院

8

## 斜視・両眼視機能障害

視覚刺激に対する感受性の高い乳幼児期に斜視が起こると、斜視の眼に抑制がかかって**視力の発達が阻害されて弱視になります**。また両眼でモノを同時に見て奥行き感や立体感をとらえる能力、すなわち両眼視機能（脳が立体的にみる能力、3Dをみる能力）が発達しません。また、小学校就学後学童期以降に斜視が起こるとモノが二つに見える"複視（ふくし）"が起こります。



Eiyo 栄養セントラル学院

斜視 | 国立成育医療研究センター ([ncchd.go.jp](http://ncchd.go.jp))

9

## 斜視・両眼視機能障害

斜視 | 国立成育医療研究センター (ncchd.go.jp)

斜視・両眼視機能障害とは  
斜視とは、外見的に眼の位置（眼位）がズレていて、  
両眼の視線が正しく目標に合致していない状態

斜視の症状として視線のずれのほか、頭位異常（頭をかしげている、顔を曲げている、顎を上げている等）や片目つぶりが目立つことがあります。**保育中に気になる症状があれば、早めの眼科の受診を勧めることが必要です。**両眼視機能（立体視）は生後2ヵ月頃から急速に発達して5歳頃までに完成する脳の機能です。さまざまな3D映像を立体的に快適に見るためには立体視が必要ですが、**小児にとって両眼視機能は、眼と手の協応や運動能力の発達、読み書きの習得にも影響を及ぼす**と言われてます。

Eiyo 栄養セントラル学院



10

“子どもの頭が痛い“というサインは見分けにくいものですね…

## 子どもの頭痛

子どもの頭痛は、前頭部がズキズキと拍動するように痛む片頭痛と、後頭部や頭全体が締めつけられるような痛みをおぼえる緊張性頭痛とがあります。

大人の片頭痛は、前頭部の片側が痛むことが多いのですが、**子どもの場合は前頭部の両方が痛むことが多いです。**短い間に繰り返して吐いたり、おへそ回りの痛みを訴えたりすることもあります。

Eiyo 栄養セントラル学院

11

“子どもの鼻炎“は  
少なくありませんね…

## 子どものアレルギー性鼻炎 (花粉症)

「アレルギー性鼻炎」の3大症状として  
鼻水、鼻づまり、くしゃみが挙げられます。  
花粉やハウスダスト等の「アレルゲン※」が、体内の  
免疫システムを刺激していろいろな症状を出現させま  
す。

花粉が原因で起こる鼻炎を 「季節性アレルギー性鼻炎」  
季節に関係のない鼻炎を「通年性アレルギー性鼻炎」とい  
います。

※アレルゲン（抗原）：アレルギー反応を起こす原因物質のこと

12

アレルギー性鼻炎の3大症状＝鼻水、鼻づまり、くしゃ  
み

アレルギー性鼻炎になると、さまざまな  
症状があらわれてきます。徐々にあらわ  
れてくることもあれば、突然始まること  
もあります。

鼻水・鼻づまり・くしゃみの3つの症状が  
揃えば、アレルギー性鼻炎が考えられます。

## 鼻水

アレルギー性鼻炎が原因の鼻水は、さらさらと水のような水様性の鼻水がほとんどです。色がついていたり粘り気がある鼻水の場合は、その他の原因も視野に入れます。

## 鼻づまり

鼻づまりは、鼻の粘膜が腫れて空気の通り道を狭くしている状態です。詰まっていないほうの鼻を押さえるか、口を閉じるかすると息がしにくくなります。風邪をひいているわけでもないのに鼻が詰まる際は、アレルギー性鼻炎を疑います。

## くしゃみ

くしゃみは、鼻の中の異物を外へ出すための体独特の反応です。立て続けに出るくしゃみと、鼻水や鼻づまりを伴い、熱やだるさがなければ、アレルギー性鼻炎と考えます。

## その他の症状

アレルギー性鼻炎になると、のど、皮膚目、眼等にも炎症の症状がみられることがあります。眼に症状が出現した際は、涙が出てきてかゆみを覚えたり、白目と瞼（まぶた）が赤くなり腫れてきます。

乳幼児の保育を行う上で  
知っておきたい子どもの薬について  
時間が許す限り丁寧に考えていきま  
しょう

# 子どもの薬について知りましょう



医師  
井上清恵子

16



## 保育所における与薬の取り扱いについて

[2r9852000000zjc8.pdf \(mhlw.go.jp\)](#)

### <保育所保育指針より>

#### 第5章 健康及び安全

#### 1. 子どもの健康支援

#### (3) 疾病等への対応

ア 保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行うこと。看護師等が配置されている場合には、その専門性を生かした対応を図ること。

イ (略)

ウ 子どもの疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしておくこと。

アレルギー対応ガイドライン 作成検討会（第2回）	参考資料1
平成22年11月30日	

厚生労働省

(保育所保育指針解説書より抜粋)

#### ④与薬への留意点

保育所において薬を与える場合は、医師の指示に基づいた薬に限定します。その際には、保護者に医師名、薬の種類、内服方法等を具体的に記載した与薬依頼票を持参してもらいます。

○保護者から預かった薬については、他の子どもが誤って内服することのないように施錠のできる場所に保管するなど、管理を徹底しなければなりません。

○与薬に当たっては、複数の保育士等で、重複与薬、人違い、与薬量の誤認、与薬忘れ等がないよう確認します。

○座薬を使用する場合には、かかりつけ医の具体的な指示書に基づき、慎重に取り扱う必要があります。

[参考情報：本文中に記載の年齢目安]

※年齢はあくまで目安ととらえましょう。

※年齢に関わらず、初めての症状/これまでと違う症状の場合は医師の診断を受けましょう。

